

大学祭@

後楽園キャンパスを
終えて50th理工白門祭実行委員会第50期のメンバー。
左から平峯、長岡、太田、多田、依田、堀越

50周年のプレッシャーのもと満足いく成果



委員長

太田優実 (生命科学科3年)

中央大学理工白門祭実行委員会第50期委員長を務めさせて頂きました太田です。

今年は大学祭が50回目を迎えるということもあり、私に果たして委員長という大役が務まるのかと不安になり、プレッシャーを感じることも多くありました。

その自信のなさから、なかなか意見をまとめられないことも多く、周

りの人に迷惑をかけてばかりいる毎日でした。しかし、活動していくうちに徐々に自分の中にもやりたいことや目標が明確になり、委員長として委員会を引っ張っていく自信につながりました。

そして、一緒に活動してくれる仲間たちに支えられ、私自身を含め、委員会全体が少しずつ成長していることを感じる事ができました。

第50回大学祭@後樂園キャンパスを終えて

また、新歓イベントの運営や町内会などの地域活動への参加を通して、団体や地域の方々に支えられて委員会が活動できていることを改めて実感しました。

理系らしさ 大学らしさを大切に

11月4日(金)～11月6日(日)にかけて行われた大学祭は、天候にも恵まれ3日間を通して、たくさんの来場者にお越し頂きました。普段から後樂園キャンパスは元気な学生でいっぱいですが、大学祭期間中は、高校生や保護者の方々だけでなく小さなお子さんからご年配の方々まで、幅広い年代の方々にぎわっていました。

研究室やサークルなどの団体が出展している各企画は、1年間の活動の成果を披露する機会として来場者を楽しませるための様々な工夫がされており、個性的な企画に溢

れていました。

企画の中には、来場者が見るだけではなく参加型のものもあり、来場者がとても楽しんでいる様子が見られました。

理系らしさや大学らしさを大切にしている大学祭ということもあり、研究室公開はもとより、小さなお子さんに理系の楽しさを経験してもらえる「サイエンスショー」や「実験教室」を実施し、保護者の方々にも「科学が分かりやすく面白」と大好評でした。

今年度よりアリーナに設営した特設ステージにて事前予約不要・無料で観られる「お笑いステージ」には、中大生をはじめ800人ものの方々に足を運んで頂き、メイン企画として非常に盛り上がりました。

普段はなかなか大学を訪れる機会がなく、大学祭を機に足を運んで頂いた方々には一つでも多く楽しいと感じて頂ける瞬間を提供したいとい

う思いが強くありましたので、今年度の目標の一つとして、「笑顔にあふれる大学祭」を目指していました。

私自身は全体の運営業務がありましたので、全ての企画を見て回ることはできませんでしたが、多くの来場者を楽しまれるとともに、出展団体関係者も楽しんでいる様子が見られ、本当にうれしく思いました。

来年度は51回目となる大学祭ですが、今年度を節目の年として次々がさらに素晴らしいものを作ってくれるものを確信しています。本稿をお読みくださいました皆様には、ぜひとも次回の大学祭も楽しみにして頂きたく思います。

最後になりますが、こうして無事に大学祭を終えることができましたのは、これまでこの行事に関わって頂いた、たくさんの方々のおかげです。この場を借りて感謝申し上げます。



副委員長

多田隆泰(情報工学科3年)

今年度、副委員長を務めさせて頂いた多田と申します。今年、50回を記念する大学祭ということで、これまで先輩たちが引き継いでくれたものを新しい形の大学祭として表現する、そのために、『妥協をしない』『新しい挑戦をする』『来年へつなげる』この3つのことをいつも心に活動を行いました。自分たちの大学祭に対する思いを来年につなげてほしいという気持ちから、後輩たちには、あ

えて広く様々なことを経験してもらうようにしたため、大変だったと思いますが、きっと来年はより素晴らしい大学祭を創り上げてくれるものと信じています。

また、私の運営方針を受け入れてくれた同期の仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。

これまで支えてくださった皆さんありがとうございました。



会計・監査

依田拓也 (応用化学科3年)

今年度、会計・監査を務めました依田と申します。大学祭を準備する間には、考え方の違い、人間関係の難しさなどから様々な出来事が起こりました。その中で、大きな問題も

なく、大学祭を終えることができたというのは大きな経験となりました。この経験を今後の人生に生かしていければ良いと思います。



企画支援部部长

堀越愛 (応用化学科3年)

今年度、企画支援部の部長を務めさせて頂いた堀越です。今年度のテーマに基づいて、企画支援部では委員会企画を考えて実際に自分たちで運営することや、学生の企画をサポートする活動を行ってきました

が、たくさんの人の支えがあってこそ、無事に大学祭を迎えることができたのだと思っています。人と人とのつながりの大切さを感じた大学祭となりました。



総務部部长

長岡佑弥 (経営システム工学科3年)

こんにちは。今年度、総務部部长を務めました長岡佑弥です。初めに、大学祭においてご支援、ご協力をいただきました企業の方々をはじめ、地域の皆様にお礼を申し上げます。総務部部长という大役を頂いてから、大学祭当日まで、本当にあっという間でした。その間、悩んだり挫

折したりといろいろありましたが、総務部の仲間や実行委員会のメンバーに支えられ、この役目を成し遂げることができました。

3年間、中央大学理工白門祭実行委員会に所属することができて良かったと思います。ありがとうございました。



製作部部长

平峯浩樹 (情報工学科3年)

パンフレットやポスターなどの作成を担当させて頂きました製作部長の平峯です。パンフレットは大学祭を楽しむ上でお役に立ったでしょうか。当委員会では全ページ製作部員の手でパンフレットを作成しております。今年は各企画と地図のページ

をリニューアルし見やすく工夫しました！

もしも、まだお手元にありましたら、様々な工夫が隠されておりますのでぜひ細かいところまで見直してみてください！